

## 大雨後の技術対策について

令和6年（2024年）7月30日  
後志農業改良普及センター北後志支所

7月27日夜から28日にかけての大雨により、ほ場の浸水等が発生しています。ほ場や施設の状況を確認し、以下を参考に対応してください。

### 1 共通（畑作・野菜・果樹）

- (1) 地表面に滞水している場合は溝を掘り、速やかにほ場外に排水してください。溝は可能な限り排水溝・明きよにつなげましょう。
- (2) 病害の発生が懸念されるため、以下を参考に防除を行いましょう。

### 2 畑作・露地野菜

- (1) 降雨による作物の損傷や湿度の上昇により、病害の発生が懸念されます。以下のような病害に注意し、防除を行いましょう。
  - ・ばれいしょ（軟腐病、疫病）
  - ・ブロッコリー（軟腐病、花蕾腐敗病、黒すす病）
  - ・かぼちゃ（疫病、うどんこ病）
- (2) 収穫・選別作業は、病害の有無を見極めて厳選し、被害を受けた収穫物が混入しないように注意しましょう。

### 3 施設野菜

- (1) ハウスを開放し、ハウス内湿度の低下を図りましょう。
- (2) 灰色かび病等の発生が心配されます。ハウス・ほ場を十分観察し、防除を実施しましょう。
- (3) 裂果した果実や傷んだ葉など病害の原因になるものは、晴天時に取り除きましょう。

### 4 果樹

- (1) 降雨後は以下のような病害に注意し、速やかに防除を行いましょう。
  - ・ぶどう（灰色かび病、晩腐病）
  - ・プルーン（灰星病、灰色かび病）
  - ・りんご（炭そ病、輪紋病）
- (2) ぶどうやプルーンでは裂果が発生する可能性があります。裂果は病害虫の発生源になることから取り除くとともに、出荷物に混入しないよう注意しましょう。

**!** 増水した河川・用水路には決して近づかず、身の安全を最優先に行動してください